

人権だより

宇和高校人権委員会

作成者：人権委員

2019. 2. 25

◇人権ホームルーム活動について

1年生と2年生は2月15日(金)に、各クラスで今年度最後の人権ホームルーム活動が行われました。各学年の活動の様子や感想の一部を紹介します。

1年 11Rは「同和問題の解決を目指して」、12R・13Rは「私が作る公正な社会」をテーマに活動しました。明るい未来を築くために何ができるか考え、差別や偏見が大きな障害になっていることを学びました。

◆感想◆

- 差別についてまた一つ知ることができた。また、自分にできることは何か分かったので、差別がなくなるよう行動をしたいと思います。
- 人によって価値観が違うので、その価値観を認め合うことが大切だと思った。
- 人それぞれ考え方に違いがあるから、差別が生まれるのだと思った。



2年 「平等な社会を目指して 一戦後の解放運動とその成果」をテーマに活動しました。差別解消に向けて自分たちにできることを考えました。

◆感想◆

- 今回のHRを受け、社用紙と全国高等学校統一用紙の違いに驚いた。
- 家柄や出身地でなく、本人の能力で合否が決まる時代に生まれて良かった。
- 就職・進学試験における正しい知識を身に付け、正しい判断ができるようにしたい。



3年生は1月11日(金)に人権ホームルームが行われました。

3年 朝鮮の拉致被害に遭った横田めぐみさんについてまとめられた「アニメ めぐみ」を鑑賞し、両親の気持ちについて考えました。

◆感想◆

- めぐみさんの両親は街頭で呼びかけや署名運動を行っていたが、話を聞いてもらえず、世の中の冷たさを感じました。
- マスコミに取り上げられ、“止まっていた時間”が動き始め、めぐみさんの両親は感謝したと思う。
- きちんと内容を理解しておらず、他人事だとのんきに考えていたことに気づいた。



◇おわりに

今年度の人権ホームルーム活動は終わりとなりました。人を大切に思う気持ちが、人権を守ろうとする気持ちや行動につながります。人を大切に思う気持ちを忘れず、行動するよう日々心掛けましょう！